盛岡第四高等学校　学校報

シルバーリーフの風

Ｎｏ．２
令和５年６月１２日発行
岩手県立盛岡第四高等学校
担当　副校長　大石　敦子
ホームページにも掲載しています

高総体特集① 全力で 走り、投げ、打ち、跳んだ志高生！

陸上部　男子　４×100mR，　800m，　1500m，　優勝！
女子　100mH，　七種競技，　優勝！
テニス部　女子　３連覇！　　男子　準優勝！

令和５年度の高総体が開催され、前期日程と中心会期日程が終了しました。生徒たちはこれまでの練習の成果を存分に発揮し、仲間とともに頂点をめざして、それぞれの試合や競技にチーム一丸となって挑戦しました。３年生にとっては部活動の一つの区切りともなる大会。高総体に参加した各部３年生の生徒たちの思いを掲載します。

【陸上競技部　３年　時村　健太　さん　】

コロナ規制が解除され、声援の戻った競技場に懐かしさと嬉しさ、そして込み上げる闘争心を感じました。そして４日間に渡る試合で引退する３年生、東北・全国を見据える人、悔しさを味わい奮起する１・２年生。私たち一人ひとりの見る景色は一人ひとり様々ですが、前を向いて進みたいと思います。これから新体制となり、１・２年生が中心となって練習していくと思います。結果に囚われ苦しくなる時期はきっとあると思いますが。仲間と助け合い目標に向かって走り続けてほしいです。

【テニス部　３年　平沼　実歩　さん　】　女子団体　優勝（通算２０回目！）

高校生活最後の高総体は、初めて声を出しての応援の中で行うことができました。私たちは三連覇を狙い、一打一打を大切に練習に取り組んできました。当日緊張感の高まる中でも仲間からの応援によって自信を持ち、プレーできたと思います。四高テニス部全員の力で、３大会連続２０回目の優勝を取ることができて、とても嬉しかったです。今まで様々な場面で支えてくださった方々全員に感謝し、インターハイに向けてこれからも日々努力していきたいと思います。

【テニス部　３年　玉山　朝陽　さん　】　男子団体　準優勝

高総体を振り返っていくつか思うことがある。まずは団体戦にでられなかった悔しさだ。一年時、二年時ともにあと一歩でメンバーに入れず、今年も高総体前の試合で納得のいく試合ができず自分のテニス人生で一番悔しい思いをした。チームは準優勝し東北大会に出場する。テスト期間と重なるがうまく両立し頑張ってもらいたい。個人戦は入賞とはならなかったもののベストな状態で試合をすることができた。相手は自分と同じ外部クラブに所属する友達でその後も勝ち進み、インターハイの切符を手にしていた。東北大会は岩手県で開催のため部員全員が大会に関わることになる。それぞれに与えられた仕事を全うしたい。

【サッカー部　３年　谷地　翔成　さん　】　１回戦

私たちサッカー部は５月２０日に行われた高総体に参加してきました。結果は１回戦敗退という悔しい結果に終わってしまいました。しかし、私たちが意識しているサッカーの原理・原則を一人一人が理解し、それをグラウンドの上で表現することができたため後悔はしていません。いつもご指導して下さった監督、コーチ、先生方、そしていつも支えて下さった保護者の皆様に結果という形で恩返しできなかったことはとても悔しく思います。

【バトミントン部　３年　上平　添裕　さん】　男子　団体３回戦

私たちバドミントン部男子は、高総体でベスト４を目標に仲間と切磋琢磨し合いながら部活動に励んできました。コロナ禍でスタートした一年生の頃は、指導者もいなく『バドミントンをワイワイ楽しくできればいいや』と思えるほどゆるい部でした。しかし、最後の高総体を迎える頃には、顧問の先生方に合宿や練習試合を組んでいただいたり、シャトルを買っていただいたり、コーチにご指導をいただいたり、技術面も人としても成長することができました。そして、最後の高総体は、三回戦敗退という結果とはなりましたが、実力を大

いに発揮することができました。後輩には心強い顧問の先生方やコーチにご指導いただきながら、より一層強くなってほしいです。これまで支えてくださったすべての方々、本当にありがとうございました。

【バトミントン部　３年　齊藤　美月　さん】　女子　団体　ベスト８

高総体を終えて、このメンバーと最後まで戦うことができて、幸せだったと思います。けがで出られなかった仲間の分も全員で戦うことができたと思います。「東北大会出場」という目標には届かなかったけど、新人戦で負けてからの半年で、力を付けたことを実感できた大会でした。これまでに合宿、練習試合などを計画してくださった顧問の先生、コーチ、支えてくださった保護者の方々には感謝の気持ちでいっぱいです。そして、３年生、いろんなことがあったけど、３年生のみんながいたから楽しかったです。ありがとうございました。

【ハンドボール部　３年　藤澤　昊生　さん】　男子　団体　ベスト８

私達は代が変わってから「県ベスト４」という目標のもとにキャプテンを中心として自律したチーム作りに取り組みました。しかしながら、個々が自律していく過程で様々な衝突があり、その度に先生はもとより後輩にまで迷惑をかけました。私たちはその経験があったからこそ一人ひとりが自律し、チーム全体にとって大きな強みとなりました。このようなチームを作れたのは、支えてくれたＯＢ会や父母会、先生、なにより仲間がいたからです！ありがとうございました！

【ハンドボール部　３年　小山田　夢彩　さん】　女子　団体　１回戦

私たち女子ハンドボール部は、ベスト８を目標に日々の練習に取り組んできました。盛岡誠桜高校と試合をし、前半５対９．後半１１対１７で敗退しました。試合は前半の入りが悪く、後半で巻き返せず、負けに終わりました。

しかし、何があっても切磋琢磨してきた仲間と過ごしてきた毎日は青春でした。後輩たちには、今回の大会で足りなかったも

のを活かし、目標達成できるよう頑張ってほしいです。応援ありがとうございました。

【卓球部　３年　　佐倉　碧斗　さん】男子　団体　ベスト８

高校の部活は中学よりも呆気なく終わってしまった。やり切った達成感はあるが、逆に喪失感や負けてしまった悔しさもある。どんなに努力しても望む結果が出なかったり、後悔することが出てくると思う。がそれを上回る成果や感情が出てくるように取り組むことが大切だと感じた。こんなに素晴らしい体験ができたのは、一緒に戦ってくれた仲間、活動をサポートしてくれた顧問の先生、コーチ、応援してくれた家族の支えがあったからだと思う。ありがとうございました！

【柔道部　３年　小田島　力輝　さん】男子　個人戦　２回戦

私は、大変な失態を犯した。個人戦、二回戦敗退。これは、柔道部の敗北、しいては四高の敗北である。私はもう、シルバーりーす君に顔向けができない。試合本番開始１分が過ぎたあたりの、グラウンドにもつれこんだときのあれ、あれである。あそこから左腕をすくい、コムロックを始めとするサブミッション。私はそのチャンスをつかめなかった。まあ、これで私も引退である。この２年間、岩手、秋田の柔道家達にもみくちゃされる青春も悪くなかった。これからは受験であるが、この経験を生かし、数式、化学式を締め落とそうと思う。最後に、柔道部を支えてくれたすべての人に感謝を送りたい。謝謝（ｼｪｲｼｪｲ）。

（※写真はナカムラ写真館様のご協力で掲載しています。）

☆彡　**高総体特集は次号に続きます**　☆彡

◈雨天時の交通安全等について　☂

梅雨の時季です。雨天時は、学校前、校門前の道路がとても混雑・渋滞します。
歩行者、自転車、自動車ともに、安全を十分に確保して、通行しましょう。
車で送って（送られて）登校する場合は、少し離れたところで下車するなど、
混雑・渋滞回避のご協力をお願いいたします。
（校地内ロータリー･昇降口前への保護者車両の進入は、ご遠慮いただいております。）